

名古屋ラジオカフェでは、2016年から6回の研究会を開催してきました。今回はその最終セッションとして、ラジオにおけるパーソナリティとリスナーとの関係、とりわけそこに生まれるフォーラム性の変容に焦点を当てます。

本シンポジウムでは、まず、日々500通近く寄せられるリスナーからのメッセージをもとに、時事問題から生活のあれこれまで語りあう地元人気番組の歴史と工夫をお伺いするとともに、若手リスナーの獲得を目指し、ネット連動など新たな戦略を手がけるTBS若手プロデューサーの取り組みをご報告いただきます。

続いて、ネット上の集合行動をめぐる研究をベースに、ネット上のフォーラムと比較しながら、ラジオのフォーラム性の特徴についてコメントをいただきます。

ディスカッションでは、ラジオカフェの取り組みを振り返りながら、ともにラジオ的フォーラムの未来について考える予定です。

ラジオとフォーラム

—その過去・現在・未来

日時：2018年1月28日(日)

午後2:00-5:30

場所：名古屋大学東山キャンパス
野依学術記念交流館 1F

参加費：無料

懇親会費：2000円 (18:00～会場内)

定員：50名

申込：必要

名古屋大学大学院情報学研究科
小川明子 a-ogawa@nagoya-u.jp

総合司会：北出真紀恵 (東海学園大学)

13:30- 第7回 Nagoya ラジオカフェ -対象番組を聴く

CBC 「つボイノリオの聞けば聞くほど」

TBSラジオ番組「ジェーン・スー 生活は踊る」他

14:00 開会

14:05 「リスナーとパーソナリティ 25年の歴史」

加藤正史 (CBCラジオディレクター)

15:10 「ラジオの強みとは何か? TBSラジオの取り組みから考える」

橋本吉史 (TBSラジオプロデューサー)

16:10 討論者コメント

伊藤昌亮 (成蹊大学)

16:40 ディスカッション

司会：小川明子 (名古屋大学)

18:00 懇親会